

## 米改革大綱への取組みは



山崎 文久 議員

条件や担い手の状況などの地域事情に応じて、地域自らの発想、戦略計画に支援をすることになっているが、本町ではどのような対策を考えているのか。

## 地域性を生かした施策を

**山崎文久議員** 三十年の長きにわたり、名を変え、方式を変えた生産調整も、国の思惑とは裏腹に、平成十五年度で幕を閉じることになった。これまでは、国から指示を受けた面積だけ米を作ればよかったが、来年度からは農業者や農業者団体が、需要に応じた生産を主体的判断で行うことになる。

**改革大綱のひとつに、**これまでの全国一律の補助制度から転換し、地域の特色ある水田農業の展開を図るため、地域自らがその使い方や単価を決められる「産地づくり対策」がある。作物の生産

**北村町長** まだ不透明な部分も多いが、地域の作物戦略、販売、水田の利活用、担い手の育成等を図るため、「地域水田農業ビジョン」の策定に取りかかったところである。町の基本的方針がまとまりしだい、集落座談会で、農家の意見集約を行い、地域性を生かした特色ある具体策を盛り込み、関係機関、水稲農家を中心に、地域・集落が一体となった取組みを展開し、米づくりのあるべき姿の実現をめざしていきたい。



学校生活を終えて、家路を急ぐ子供たち

## 子供たちの登下校時の安全対策は万全か

**山崎議員** 最近、特に、抵抗力の弱い小・中学生や幼児の誘拐や殺人といった劣悪な犯罪が急増している。私たちにどうして、他人事でない状況の

なか、町内や周辺部で、登下校時に声をかけられたとか、つけ回されたとかいったことはないか。また、「子供一〇番の家」の現状はどうか。

**福留教育長** 本町では、幸いに事件は発生していないが、子供への声かけ事案等が、四月以降に七件が報告されている。このような事案等が発生した場合は、直ちに全部の小・中学校に連絡して指導を行うとともに、警察に巡回等をお願いする。「子供一〇番の家」に、駆込んだ事例はないが、小学校三校で駆込み訓練をしている。

**山崎議員** 防犯訓練の実施、さらには、防犯ベル・ホイッスルの配布は考えられないか。

**教育長** 防犯訓練は、八校のうち六校が実施済みである。防犯ベル等の配布については、予算との関連もあるが、前向きに検討したい。